

## News Release

2024年3月21日  
株式会社プロテリアル

## 配管機器事業の譲渡について

本日当社は、当社並びに子会社で営む配管機器事業を岡谷鋼機株式会社（以下、「岡谷鋼機」）に譲渡することを決定しましたので、お知らせします。

## 1. 譲渡の背景・目的

当社の配管機器事業は、1910年に創業した当社前身である戸畑鋳物株式会社においてひょうたん印（ひょうたん印）のマレブル<sup>®</sup>管継手の製造を開始して以来、100年以上にわたり優れた品質と豊富な品揃えで幅広く社会インフラ整備に貢献してきました。また、ファインフロー製品については、1987年にSAM<sup>™</sup>ブランドのマスフローコントローラーを開発、その後もAera<sup>®</sup>ブランドを譲り受けるなどして業容を拡大し、半導体産業を支えてきました。

当該事業のさらなる成長・発展に向けて検討を重ねるなかで、岡谷鋼機に本事業を譲渡し、持続的な事業成長をめざすことが全てのステークホルダーにとって最良の選択と判断しました。岡谷鋼機は、グローバルかつ多様な事業展開による強固な経営基盤を有し、モノづくり力強化に向けた十分な成長投資が可能です。また、長年にわたる当社配管機器事業との取引を通じて当該事業を熟知しており、当該事業の製品ポートフォリオと同社の現場に精通した技術力・販売力とのシナジー効果が見込めます。

今後は、岡谷鋼機とともに、新製品の開発などによる社会インフラ整備への貢献、並びに統合的な半導体装置ソリューションの提供により持続的成長を実現してまいります。

## 2. 対象事業の概要

- 継手バルブ事業：鋳物・ステンレス継手、フレキ管・継手、ガス用ポリエチレン管・継手、各種バルブ、膨張タンク、チルドタワー<sup>®</sup>の開発・製造・販売
- ファインフロー事業：半導体製造装置向け流体制御装置、気化器の開発・製造・販売

## 3. 譲渡先の概要

商号	岡谷鋼機株式会社
代表者	取締役社長 岡谷 健広
設立年	1937年（創業1669年）
資本金	91億28百万円
事業内容	鉄鋼、特殊鋼、非鉄金属、電機・電子部品、化成品、機械・工具、配管住設機器、建設関連、食品などの国内販売・輸出入
売上高	連結：9,620億円 単体：5,679億円（2023年2月期）

## 4. 日程

契約締結日：2024年3月21日

譲渡実行日：2024年7月～8月（予定）

以上

ひょうたん印、マレブル、SAM、Aera、チルドタワーは、株式会社プロテリアルの登録商標または商標です。

## ■プロテリアル(PROTERIAL)について

# PROTERIAL

プロテリアル (PROTERIAL) は、当社の企業理念を構成する Mission 「質の量産」、Vision 「持続可能な社会を支える高機能材料会社」、Values 「至誠」「愈則彊(和すれば強し)」のエッセンスを反映しており、

“PRO” + “MATERIAL” から作られています。PRO が表すのは **Professional (専門的な)**、**Progressive (革新的な)**、**Proactive (主体的な)** の3つの言葉で、それぞれに「期待を超える仕事」「挑戦し続ける意志」「主体的な姿勢」という意味を込めています。MATERIAL はこれら3つの PRO に支えられた独創的な技術から生み出される、高機能材料を意味します。

当社グループはその製品と想いに根ざしたサービスを通じてお客さまの課題を解決し、世界の人々に新たな価値を提供して、持続可能な社会の実現に貢献し続けてまいります。

## ■株式会社プロテリアル 会社概要

設立：1956年4月

本社：〒135-0061 東京都江東区豊洲5-6-36 豊洲プライムスクエア

資本金：310百万円(2023年3月31日現在)

代表者：代表取締役 会長執行役員 兼 社長執行役員 CEO (最高経営責任者)

Sean M. Stack (シヨン・スタック)

売上収益：1兆1,189億円(2023年3月期)

沿革：1910年 戸畑鑄物株式会社として創業

1937年 株式会社日立製作所と合併

1956年 日立金属工業株式会社として分立

2023年 日立グループから離脱し、商号を日立金属株式会社から株式会社プロテリアルに変更